全域版

HAZARD MAP

多治見市
土砂災害・洪水

家族で考えよう! やってみよう! 新しい避難様式

多治見市では、今後発生の恐れがある地震および風水害、土砂災害に対する危険度等を掲載した「多治見市防災ハザードマップ」を作成しました。
このハザードマップを利用して災害に対する危機意識を持っていただき、災害が発生したときの安全かつ迅速な避難や事前の備えについて、日ごろから家族や地域の皆さんで話し合いましょう。

【問い合わせ先】多治見市役所 企画部企画防災課
〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地 TEL.0572-22-1111(代表)
https://www.city.tajimi.lg.jp/

令和3年5月作成

UD FONT
ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

避難時の行動・心得

早めの避難を心がけましょう
浸水してからの自宅外避難は危険です。テレビやラジオ、河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難勧告を待たずに自主的に避難を開始してください。

要配慮者の安全を第一に
お年寄りや子ども、体の不自由な人などの安全を第一に考えて動きましょう。

安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません
自宅が浸水や土砂災害の危険がない地域の場合や、堅牢なマンションの上層階で、浸水した水が引くまで我慢でき、食料や水、トイレなどの備えがある場合は自宅にとどまり安全を確保することも可能です。

避難所における感染症対策
感染症の感染リスクがあっても、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

避難場所・避難経路・避難方法を確認しましょう
浸水に対して安全な避難場所と避難経路を平時から家族や地域で確認しておきましょう。車での避難は緊急自動車の通行を妨げるとともに、交通渋滞に巻き込まれる可能性もありますのでやめましょう。

ご近所に声をかけましょう
単独での避難は、思わぬ事態にあった時に危険です。避難する前に隣近所に声をかけ、二人以上での避難を心がけましょう。

暴雨時の屋外移動は車も含め危険です
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

マスク・アルコール消毒液・体温計などを持参しましょう
マスク・アルコール消毒液などを非常持ち出し品に追加しておき、避難先へ持参するようにしましょう。感染対策としてごみ袋なども出来るだけ持参しましょう。

「自らの命は自ら守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう。

非常持出品・常備品

●非常持出品リスト　避難するときに最初に持ちだすものの例です。

非常食品
- □飲料水
- □アルファ米
- □携行用バランス栄養食
- □機能性食品 ※ビタミン・ミネラルなどの栄養が強化された食品
- □その他(　　)

通信・情報機器類
- □携帯電話・スマートフォン
- □充電器(発電ができるもの)
- □携帯ラジオ(FM/AM)
- □乾電池

貴重品
- □免許証コピー
- □健康保険証コピー
- □権利証書コピー
- □通帳・印鑑

救急・応急医療品
- □ヘルメット 防災ずきん
- □ホイッスル
- □小型ナイフ
- □マスク
- □救急用品(傷薬、ばんそうこう、解熱剤など)
- □アルコール・消毒液

日用品・防寒・防暖
- □懐中電灯・ろうそく
- □衣類、毛布
- □うちわ
- □手ぶくろ
- □雨具
- □タオル
- □ティッシュペーパー
- □トイレットペーパー

その他
- □粉ミルク・哺乳瓶
- □常備薬
- □生理用品
- □紙おむつ
- □携帯・簡易トイレ
- □お薬手帳
- □筆記用具

●常備品　災害復旧までの数日間(3日間～1週間程度)生活できるように準備しておくものです。

飲料水・非常用食品
- □飲料水(1人1日3L)
- □缶詰
- □レトルト食品など
- □乾パンなど 保存の効く食糧
- □インスタント食品

燃 料
- □卓上、携帯コンロ
- □予備のガスボンベ
- □マッチ・ライター
- □乾電池
- □充電器(発電ができるもの)

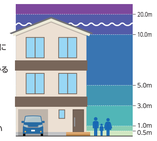
その他
- □キッチン用ラップ
- □アルミホイル
- □ごみ袋
- □裁縫セット
- □乳幼児用品
- □高齢者用品・常備薬
- □携帯・簡易トイレ
- □生理用品

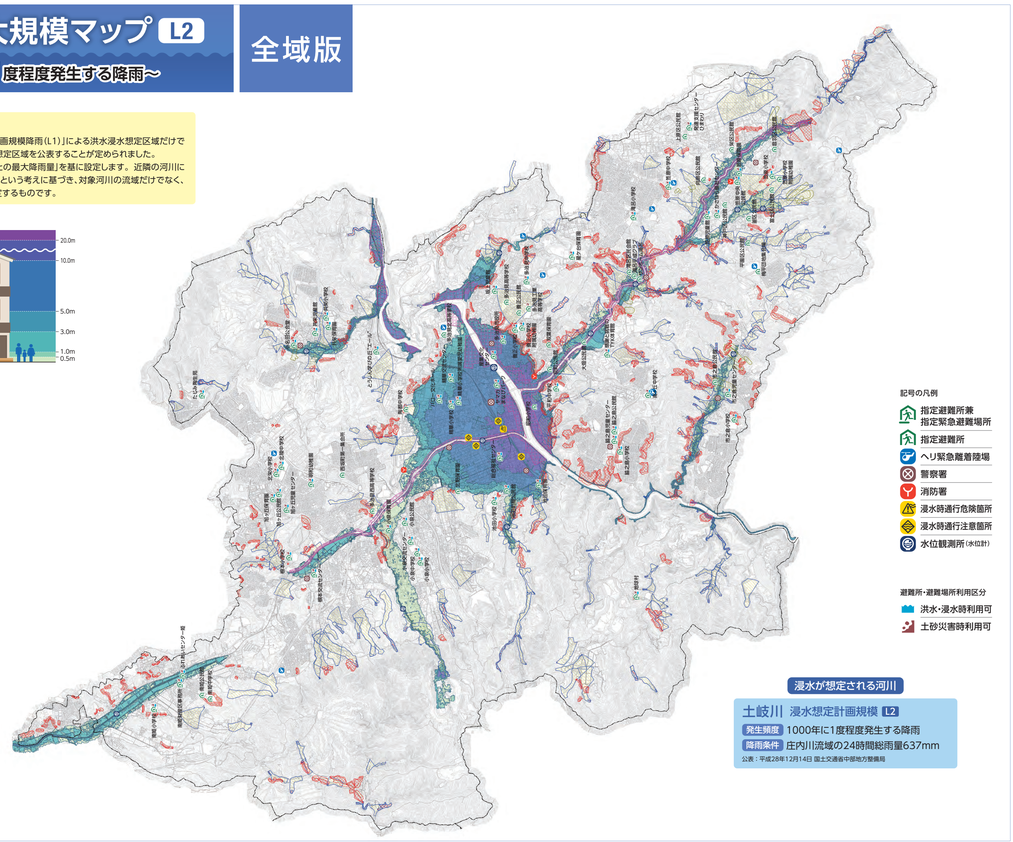
浸水想定最大規模マップ L2
～1000年に1度程度発生する降雨～

全域版

浸水想定最大規模(L2)とは
水防法の改正(平成27年5月)により従来の「計画規模降雨(L1)」による洪水浸水想定区域だけでなく「想定最大規模降雨(L2)」による洪水浸水想定区域を公表することが定められました。
想定最大規模降雨は、国が定めている「地域ごとの最大降雨量」を基に設定します。近隣の河川における降雨が対象河川でも同じように発生するという考えに基づき、対象河川の流域だけでなく、周辺地域で観測された最大の降雨量により設定するものです。

浸水の深さの見方
想定される浸水の深さを色で分けています。
- 20.0m …6階～7階まで水につかるくらい
- 10.0m …3階まで水につかるくらい
- 5.0m …2階軒下くらい
- 3.0m …1階軒下くらい
- 1.0m …大人の腰くらい
- 0.5m …大人のひざくらい





※背景地図情報は平成28年度のものを使用しています。

土砂災害とは

がけ崩れや土石流、地すべりにより、大量の土砂が居住地に流れ込むことで人的・物的に被害が生じる災害のことをいいます。
土砂災害が特に発生しやすい場所は、「土砂災害(特別)警戒区域」に指定されています。土砂災害の多くは集中豪雨や台風によって引き起こされます。住まいや勤め先がこの土砂災害(特別)警戒区域内にある場合、大雨が予想されるときには細心の注意を払い、早めの判断・行動を行えるようにしておきましょう。

土砂災害警戒区域
〈 通称:イエローゾーン 〉
がけ崩れなどが発生した場合に、住民等の生命又は身体に著しい被害が生じるおそれがあると認められる区域(この区域では、土砂の流れ込みで、命を落としたり、けがをしたりする可能性が高い)。

土砂災害特別警戒区域
〈 通称:レッドゾーン 〉
がけ崩れなどが発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい被害が生じるおそれがあると認められる区域(この区域では、土砂の流れ込みによる建物の損壊の可能性が高く、イエローゾーン以上に危険度が高い区域となります)。

こんな時は危険!
- ●斜面のひび割れや変形
- ●崖から水が出ている
- ●小石が落ちてくる

急傾斜地(がけ崩れ)とは
地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。

イエローゾーン
急傾斜地(傾斜度30度、高さ5m以上)において、次に該当する区域。
●上端から水平距離10m以内　●斜面　●下端から水平距離で急傾斜の高さ(h)に相当する距離の2倍以内(最大50m)

レッドゾーン
がけ崩れが発生したとき、土砂の力が建築物の耐えることのできる力を上回り、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域

こんな時は危険!
- ●山鳴りがする
- ●川が濁り流木が混じる
- ●雨降りでも川の水位が低下

土石流とは
山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。 その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

イエローゾーン
土石流の発生のおそれのある渓流において、谷出口から下流の渓床勾配が2度以上の区域

レッドゾーン
土石流が発生したとき、土砂の力が建築物の耐えることのできる力を上回り、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域

こんな時は危険!
- ●沢や井戸の水が濁る
- ●地面のひび割れやズレ
- ●斜面から水が噴き出す

地すべりとは
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また、一旦動き出すとそれを完全に停止させることは非常に困難です。我が国では、地質的にぜい弱であることに加えて梅雨あるいは台風などの豪雨により、毎年各地で地すべりが発生しています。

イエローゾーン
地すべり区域、及び地すべり区域下端から地すべり地塊の長さに相当する距離(L)の範囲内の区域(最大250m)

レッドゾーン
地すべりが発生したとき、土砂の力が建築物の耐えることのできる力を上回り、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域

気象・防災情報等の入手先

降雨予測、レーダー雨量、土砂災害警戒情報等に気を配り、想定される被害を常に考えて行動することが大切です。
テレビ・ラジオ(NHK等)の他、以下の方法で情報を収集することが出来ます。

多治見市防災アプリ	iPhone版のダウンロードはこちら App Store / Android版のダウンロードはこちら Google Play	
FMピピ	気象情報、防災行政無線の放送内容を聞くことができます。	周波数 76.3MHz
おりべチャンネル	地デジ12chに合わせて、リモコンのボタンを押すと防災情報やお天気情報を見ることが出来ます。	
多治見市緊急メール	防災行政無線で放送する気象警報、避難勧告等を登録した携帯電話又はパソコンにメールでお知らせします。	
テレホンガイド防災無線	防災行政無線の放送内容を聞くことができます。	フリーダイヤル さいがいないよ 0120-311714

気象情報全般
●岐阜県地方気象台　http://www.jma-net.go.jp/gifu/

岐阜県総合情報ポータル
●岐阜県川の防災情報
https://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/
https://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/h/(携帯版)
●土砂災害警戒情報ポータル
https://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/
https://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/(携帯版)

降雨の予想
●国土交通省川の防災情報(レーダー雨量)
雨域と移動概況を確認可能
http://www.river.go.jp/
http://i.river.go.jp/(携帯版)

5段階の警戒レベルと命を守るための行動

岐阜県・多治見市からの避難情報とあなたがとるべき行動を確認しましょう。

警戒レベル	警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 5
多治見市からの避難情報			避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告・避難指示(緊急)	災害発生情報
とるべき行動	災害への意識を高める 最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えをしてください。		避難準備が整い次第避難開始 高齢者等は速やかに避難 ハザードマップ等で避難行動を確認し、避難の準備が整い次第避難を開始してください。	速やかに避難！避難を完了 災害が想定されている区域等では、自治体からの避難勧告の発令に留意するとともに、避難勧告が発令されていなくても危険度分布等を参考に自ら避難の判断をしてください。	命を守るための最善の行動をとる 何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命を守るための最善の行動をとってください。
気象庁 岐阜県等の避難情報	早期注意情報 ※警報級の可能性がある場合	・大雨注意報 ・洪水注意報 ・氾濫注意情報	・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	・土砂災害警戒情報 ・氾濫危険情報	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報
注意報・警報の説明	大雨による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。		大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨による土砂災害のおそれがある時に住民の自主避難の参考となるように発表。	台風や集中豪雨などにより数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表。

※「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)に基づき編集

雨の降り方と災害発生の関連性

	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量(mm)	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm～
状 況	・長時間続く場合は警戒が必要	・側溝や下水、小河川があふれる ・小規模な土砂災害	・下水管から雨水があふれる ・避難準備が必要	・マンホールからの吹き出し ・土石流が起こりやすくなる	・大規模な災害の発生するおそれ ・厳重な警戒が必要
感じ方	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	地面一面に水たまり	傘をさしていても濡れる	傘は役に立たなくなる	息苦しくなるような圧迫感を伴い、恐怖を感じる

※気象庁「雨の強さと降り方」を編集

わが家の避難情報(マイタイムライン)

わが家の避難情報をつくろう!
(マイタイムライン)

- **ステップ1** 地図を確認して、自分の家にどのような危険があるかを確認しましょう。
- **ステップ2** 避難する人を確認しましょう。高齢者や子どもなど配慮の必要な人(要配慮者)が近くにいないか確認しておきましょう。また連絡方法についても話し合っておきましょう。
- **ステップ3** 非常持出品リストを参考に準備しましょう。
- **ステップ4** 安全な避難場所を決めましょう。
  地図に着色がなく、水害や土砂災害の危険がない、もしくは危険が少ない施設を選びましょう。そこまでの道のりや移動方法を家族で話し合っておきましょう。
- **ステップ5** 基本は早め早めの避難です。避難開始のタイミングやどの時点でどのような対策が必要かを話し合って、内容を書き込んでみましょう。

ステップ2 誰と避難する?

誰と?	連絡先は?

ステップ3 何をもって避難する?

何を?	大きさは?	重さは?
非常持出品を参考に	リュックなど背負えるものに入るように	【合計】 kg 無理のない重さになっていますか?

ステップ4 避難に必要な時間は?

Ⓐ 安全な場所は?
安全な場所は?
<確認してみましょう!>
- レッドゾーンの外 □
- イエローゾーンの外 □
- 浸水区域の外 □

家族で話し合おう!

Ⓑ 安全な場所まで片道何分?(通常時)
徒歩なら ⇒ ＿＿分 / 車なら ⇒ ＿＿分

Ⓒ 安全な場所まで片道何分?(豪雨時)
徒歩なら ⇒ ＿＿分 / 車なら ⇒ 使用不可(渋滞等による二次災害発生の恐れがあります)

Ⓓ 避難を決断してから家を出るまでに何分?
＿＿分

Ⓔ 要配慮者を支援するのに何分?
＿＿分

Ⓕ 避難を決断してから安全な場所まで何分?
徒歩なら ⇒ ＿＿分 (B+D+E) / 車なら ⇒ ＿＿分 (B+D+E) / 豪雨時なら ⇒ ＿＿分 (C+D+E)

ステップ5 我が家の避難情報(マイタイムライン)

気象情報		大雨に関する気象情報	注意報 / 警報に切り替える可能性が高い注意報	警報	警報	大雨特別警報
					記録的短時間大雨情報	
					土砂災害警戒情報	
警報の危険度分布			注意報	警報	非常に危険 / 極めて危険	
水位情報			氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報(避難判断参考水位)	氾濫発生情報
避難情報			レベル3(避難に時間がかかる人は避難) 避難準備・高齢者等避難開始		レベル4(全員避難) 避難勧告 / 避難指示(緊急)	レベル5 災害発生情報
いつ、何をする?	日中	(記入例)気象情報に注意する / (記入例)携帯を充電しておく / (記入例)避難経路の確認をしておく	(記入例)非常持ち出し品の確認をする / (記入例)要配慮者避難開始 / (記入例)近所への避難の呼びかけ / (記入例)避難準備を始める	(記入例)避難開始	(記入例)避難完了 / (記入例)家族に連絡	レベル5では既に災害が発生しています。レベル5になる前に必ず避難を完了しましょう。
	夕暮れ時	(記入例)気象情報に注意する / (記入例)携帯を充電しておく / (記入例)非常持ち出し品の確認をする / (記入例)避難経路の確認をしておく / (記入例)避難準備を始める	(記入例)避難開始	(記入例)避難完了 / (記入例)家族に連絡		